



十二月 (大)

師走

翼宿

(十一月七日大雪の節より
月命戌子 一白水星の月
暗剣殺北の方)

旧 十月大
十一月大

日	曜日	干支	九星	行事	旧曆	六輝	中段	廿宿	下段	日出	月大	満潮	干潮
1日	月	きのえ たつ二黒	二黒	映画の日、欽の記念日、世界エイズデー、歳末助け合い運動、不成就日 旧十月大	十二	先負	とる	畢	大みやう	6.32	16.28	13.32	7.28
2日	火	きのと み一白	一白		十三	佛滅	やぶる	背	大みやう	6.33	16.28	14.03	8.27
3日	水	ひのえ うま九紫	九紫	障害者週間、秩父夜祭	十四	大安	あやぶ	参	神よし	6.34	16.28	14.41	9.18
4日	木	ひのとつじ 八白	八白	人権週間	十五	赤口	なる	井		6.35	16.28	15.27	21.49
5日	金	つちのえさる 七赤	七赤	○望八時一四分、納めの水天宮	十六	先勝	おさん	鬼	●	6.35	16.28	16.10	23.17
6日	土	つちのとつじ 六白	六白	小田原秋葉権現火防祭、一粒万倍日	十七	友引	ひらく	柳	十し	6.36	16.28	17.31	11.35
7日	日	かえい いぬ五黄	五黄	大雪六時五分	十八	先負	ひらく	星	大みやう	6.37	16.28	18.44	12.18
8日	月	かえい む四緑	四緑	こと納め、針供養、納めの薬師、成道会、一粒万倍日	十九	佛滅	とる	張	大みやう	6.38	16.28	19.58	13.00
9日	火	みづのえね 三碧	三碧	皇后誕生日、旧えびす講、旧誓文払い、八都了徳寺大根焚き、一粒万倍日、八せん始め、漱石忌、不成就日	廿	大安	たつ	翼	くゑ日	6.39	16.28	21.08	13.44
10日	水	みづのとつじ 二黒	二黒	世界人権デー、納めの金毘羅、大宮水川神社人湯祭	廿一	赤口	のぞく	軫	天おん	6.39	16.28	19.42	14.34
11日	木	きのえ とら一白	一白	三隣亡	廿二	先勝	みつ	角	きこ	6.40	16.29	20.53	15.40
12日	金	きのと う九紫	九紫	○下弦五時五二分	廿三	友引	たいら	亢	●	6.41	16.28	22.39	17.17
13日	土	ひのえ たつ八白	八白		廿四	先負	さだん	氐	大みやう	6.42	16.28	23.16	18.50
14日	日	ひのと み七赤	七赤	東京高輪泉岳寺義士祭	廿五	佛滅	とる	房	十し	6.42	16.28	12.41	19.47

一年の締めくくりに月であり、年間を通じて最も日の短い月である。
この月の別名として「師走」の呼称が通例になっているのは、やはり一般に師匠までも走り出す月、という人間味を伴った語感のせいであろうか。
年の最後の月として、各地でいろいろな行事や祭祀があるが、だいたいが納めや供養である。
今年一年間の喜び、反省等、それらを思い返し、整理することで、来る年への指針となし期待を持ち、そして自戒するべきものがある。ばい心へ響くべきであろう。
「祭」歳暮とは元来年の暮話のことであるが、日ごろの世話の、一年間のお礼心としての贈り物がいつのころから「お歳暮」というならわになった。
正月始めは、この月の八日から十三日から、正月を迎える準備をし始めることを

15日	月	つちのえさる 六白	年賀郵便特別扱い、東京世田谷ボロ市	廿六	大安	やぶる	心	ちいみ	6.43 16.29	2.12 13.06	20.30
16日	火	つちのとつじ 五黄		廿七	赤口	あやぶ	尾	神よし	6.44 16.29	3.10 13.33	21.06
17日	水	かえいさる 四緑	東京浅草観音歳の市、伊勢神宮月次祭、奈良春日大社若宮おん祭、庚申、不成就日	廿八	先勝	なる	箕	大みやう	6.44 16.30	4.10 14.05	21.41
18日	木	かえとり 三碧	納めの観音	廿九	友引	おさん	斗	神よし	6.45 16.30	5.10 14.42	22.15
19日	金	みづのえいぬ 二黒		卅	先負	ひらく	牛	月とく	6.46 16.31	6.08 15.27	22.49
20日	土	みづのとみ 一白	●朔一〇時四三分、八せん終り、一粒万倍日 旧十一月大	朔	大安	とづ	女	ちう日	6.46 16.31	7.03 16.18	23.23
21日	日	きのえ ね一白	納めの大師、天しや、九星陽通始め、甲子、一粒万倍日	二	赤口	たつ	虚	よろづ	6.47 16.31	7.53 17.15	23.57
22日	月	きのと う二黒	冬至〇時〇三分、ゆず湯	三	先勝	のぞく	危	神よし	6.47 16.32	8.36 18.16	24.15
23日	火	ひのえ とら三碧	三隣亡	四	友引	みつ	室	天おん	6.48 16.32	9.13 19.19	24.50
24日	水	ひのと う四緑	クリスマス・イブ、納めの地蔵、不成就日	五	先負	たいら	壁	●	6.48 16.33	9.45 20.23	25.13
25日	木	つちのえさる 五黄	クリスマス、終い天神、蕪村忌	六	佛滅	さだん	奎	天おん	6.48 16.34	10.14 21.26	25.40
26日	金	つちのとみ 六白	官庁御用納め、己巳	七	大安	とる	婁	十し	6.49 16.34	10.40 22.29	26.10
27日	土	かえうま 七赤	大つち	八	赤口	やぶる	胃	ちいみ	6.49 16.35	11.05 23.34	26.40
28日	日	かのとつじ 八白	●上弦四時一〇分、納めの不動	九	先勝	あやぶ	昂	大みやう	6.50 16.36	11.32	27.15
29日	月	みづのえさる 九紫		十	友引	なる	畢	百事吉	6.50 16.36	12.00 25.40	27.45
30日	火	みづのとつじ 一白		十一	先負	おさん	觜	神よし	6.50 16.37	12.34 26.44	28.10
31日	水	きのえいぬ 二黒	年越し、大はらい、除夜の鐘、男鹿なまはげ、出羽三山松列祭	十二	佛滅	ひらく	参		6.50 16.38	13.14 27.44	28.40

いう古い習慣で、すす払いから着手したものである。二十二日前後に二十四節氣の一つ「冬至」がある。この日北半球では最も日が短く、この日を境に日脚が延びるので、地方に日脚がそれの行事を持っている。風邪をひきにくいといつて「ゆず湯」に入る習慣は全国的に知られている。二十五日はキリストの降誕日で、その前夜の「クリスマススイブ」とともに、欧米では正月よりも盛大に祝う。わが国でもキリスト教とは関係なくツリを飾ったり、プレゼントをし合ったりする家庭も多い。新年を迎える正月の飾り物は、三十日までには用意を終えるが、二十九日は苦飾り、三十日は一夜飾りといひ、どちらも年神様に失礼に当たるといふので、なるべく早めの準備を心掛けるべきである。大晦日（おおみそか）の夜は神棚にお灯明をあげたり、年越しそば（みそかそば）を食べたりし、神社や寺院に参詣したり、その土地土地によつて独特の習慣を持っていたりする。											
---	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

いう古い習慣で、すす払いから着手したものである。
二十一日前後に二十四節気の二つ「冬至」がある。この日北半球では最も日が短く、この日を境に日脚が延びるので、地方によりそれぞれ行事を持つという。
「ゆず湯」に入る習慣は全国的に知られている。
二十五日はキリストの降誕日、その前夜の「クリスマス・イブ」とともに、欧米では正月より盛大に祝う。わが国でもキリスト教とは関係なくツリーを飾ったり、プレゼントをし合ったりする家庭も多い。
新年を迎える正月の飾り物は、三十日までには用意を終えるが、二十九日は苦鉢り、三十日は一夜飾りといわれ、どちらも年神様に失礼に当たるといわれて、なるべく早めの準備を心掛けるべきである。
大晦日(おおみそか)の夜は神棚にお灯明をあげたり、年越しそば(みそかそば)を食べたり、神社や寺院に参詣したりし、その土地土地によって独特の習慣を持っている。